

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	14-2
PDCA	主要事業名	観光振興事業	部課名	市民経済部観光課	担当	中村	
					内線	324	

P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 1 - 1 単位施策： 観光					
	全体事業期間： 令和 3 年度 ～ 3 年度 全体事業費等： 32,204 千円					
	会計 一般会計 歳出科目 06.01.04.02.50					
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： 34,400 千円					
	事業概要等	事業概要： 半田の観光資源「山車・蔵・南吉・赤レンガ」を活用し、観光振興を図る。名鉄とタイアップしたいいかも半田キャンペーン推進事業や寿司にスポットをあてた食の観光推進事業のほか、半田市観光ガイドを一新し、より一層の誘客・情報発信を強化する。				
		事業目的： 「山車・蔵・南吉・赤レンガ」など、歴史と文化に根差した資源を活用して、観光振興を推進することで、半田の魅力を発信し、観光客の誘客や知名度を向上させるとともに、地域経済の活性化を図る。				
		事業内容： いいかも半田キャンペーン推進事業、食の観光推進事業、観光客回遊促進事業、半田市観光ガイド作成事業ほか				
		問題点・ 年齢層により、情報収集の媒体が異なるため、様々なツールを活用し、効果的な情報発信を行う必要がある。				
	予算額	主要事業とする理由				
	32,204 千円	半田市の観光振興における中核的事业であるため。				
財源内訳	得られる成果					
市費	観光客の増加や「歴史と文化のまち半田」の認知度向上による地域経済の活性化と半田市のイメージ向上につながる。					
17,431 千円	目標値や目指すべき状態					
国費	令和元年度 令和2年度 令和3年度 単位					
12,212 千円	年間観光入込客数	実績値	1,669	556	—	千人
県費		目標値	1,700	1,730	1,760	千人
0 千円		実績値				
		目標値				
その他		実績値				
2,561 千円		目標値				

D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果			
	33,920 千円	新型コロナウイルスの影響により、観光入込客数は目標値を下回ったが、地方創生臨時交付金を活用した物産品等オンライン販売促進事業の実施等により、観光物産品のPRと地域経済の活性化を図ることができた。			
		成果指標			
		令和3年度	単位		
		年間観光入込客数	実績値	787	千人
		目標値	1,760	千人	

C 課題の整理	事業の評価・課題	D 令和2年度から続く新型コロナウイルスの影響により、「ごんの秋まつり」「すしイベント」等のイベント中止や一部の観光施設の休館が続いており、観光入込客数は、目標値を大きく下回った。そうした状況の中でも、イベントに頼らない、日常的なにぎわいの創出を目指し、いいかも半田キャンペーンの通年での実施、まち歩きを意識した半田市観光パンフレットの作成のほか、物産品等オンライン販売促進事業等、ウィズコロナに即した事業を実施することができた。			
------------	----------	--	--	--	--

A 今後の課題の解決に向けた方向性	今後の事業の方向性	改善推進 大規模な集客イベントについては、密を回避するなどの感染対策を講じた上で開催していく。また、イベントのSNS広告の活用やめぐりんマップのデジタル化等、デジタルによる誘客や回遊性の向上をさらに強化していく。他方、国がコロナ対策として公募する各種観光振興関係の実証事業に、観光協会と協働して応募し、新たな観光需要の掘り起こしに取り組んでいく。			
	観点別評価	必要性	有効性	効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト ある	※対象・手段の変更
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	削減余地	
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地	
		—			

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用